

名古屋市立大学病院

病院長名	松川 則之
〒467-8602 愛知県名古屋市長区瑞穂町字川澄 1	
所在地	
地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結	
交通案内	市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は800床の病床、32の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受け、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。また、令和3年には東部・西部医療センター、令和5年にはみどり市民・みらい光生病院、令和7年にはリハビリテーション病院が名古屋市立大学の医学部附属病院になり、全国最大規模の大学病院群となりました。令和8年度には救急災害医療センターの開棟を予定しており、より一層進化を続けております。

□ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学病院連携施設精神科専門医研修プログラムは全28施設から構成され、専攻医のニーズに応じた多様な研修パターンを可能としています。一般的には、1～2年目を研修基幹病院である名古屋市立大学病院で、3年目を精神科無床総合病院と単科精神科病院、または有床総合病院で研修します。3年間の精神科臨床研鑽の結果として、専門医に加えて精神保健指定医も取得できるよう指導します。このようにして、本プログラムの目標である「真の精神科専門医としての helping professional」を目指します。

<研修モデル>

	1年次	2年次	3年次(例1)	3年次(例2)	4年次
4月	名古屋市立大学病院	名古屋市立大学病院	無床総合病院	有床総合病院	専門医が所属する施設に申請も可能。 希望に応じてサブスペシャリティ研修、大学院進学等
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月			単科精神科病院		
2月					
3月					

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



□ 主な連携施設

あいせい紀年病院、愛知県精神センター、飯田病院、稲沢厚生病院、犬山病院、笠寺精治療病院、北津島病院、協立総合病院、楠メンタルホスピタル、公益社団法人岐阜病院、好生館病院、公立陶生病院、聖十字クリニック、聖十字病院、精治療病院、豊川市民病院、豊田西病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、同附属東部医療センター、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、東尾張病院、松蔭病院、三重県立小児心身発達医療センター、三方原病院、南生協病院メンタルクリニックみなみ、南知多病院、八事病院、和合病院 全28施設

□ メッセージ

精神科 部長 明智 龍男

信頼される精神科医への道。Helping Professionalへの道をと共に歩みましょう！



精神医療の最も大きなやりがいは「患者さんの人生全体に関わることができる」という点ではないでしょうか。私たちは、単に診断し薬を処方するのではなく、病の背景に存在する複雑な疾患形成・維持過程である「フォーミュレーション」を立て、エビデンスも活用して、患者さんの生きる力を支える専門医を育てます。医を学び、術を身につけ、患者さんを支える道を一緒に歩みませんか。

□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人	※全領域あわせの人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与／月額	357,900円～436,200円	(勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数／月	4回程度	(診療科により異なる)
・当直料／回	24,000円～34,000円	
・その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
・応募連絡先	担当者	管理課 医療人連携・育成支援係 専攻医募集担当
	電話番号	052-858-7527
	Eメール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp